



特集
平成25年度 所信と主要施策

自らの道を進む第一歩

大江中学校卒業証書授与式が3月16日におこなわれました。卒業生代表の鈴木^{てん}乃さんは「私たち卒業生70名は大江中学校でこれまで学んだことを活かし、一步一步踏みしめながら我が道を進んでいきます」と力強くあいさつしました。

平成25年

4

No.626

平成25年度

町政運営に関する所信と 主要施策

ここに暮らす喜びを

みんなが実感できる町

平成25年度の予算などを審議する第1回大江町議会定例会が3月7日から15日までの会期で開かれました。冒頭に渡邊町長が町政運営に関する所信を述べるとともに、今年度の主要施策について説明しました。

今年の冬は、降雪が早かったことに加え、山間集落の積雪量が多かったことから、3年続けての豪雪対策本部を設置し対策にあたってきました。こうした中で、町内におきましては雪による日常生活への影響や人命にかかる重大な事故、農作物などの被害も少なく現段階では過ごすことができました。これも町民皆さま方のご理解とご協力をいただいた結果であり、心より感謝申し上げます。

山形県内では初めての指定となる、重要文化的景観「最上川の流通・往来及び左沢町場の景観」は、ここに住み生きてこられた先人からの贈りものであり、町民が力を合わせて大切に守っていかねばならない責任の重大さを改めて感じさせられているところでもあります。

大江町として、大型補正を含めた国家予算の各施策に、中長期的な注視をしながらも、組み入れ可能な事案に対しては積極的に受け入れ、活用していくべきであろうと思われれます。

大江町長 渡邊兵吾



大江町の50数年の軌跡は、自主財源の確保との戦いであった、と指摘する行政経験者の箴言は、ある程度、的を得ていると思われ、3割自治の所以でもあります。年間予算の百分の一の備蓄を成し得なかった「財布持ち」、新しい産業育成に追いつけなかった社会インフラ、国家予算に「おんぶにだっこ」……、こうしたマイナス思考の指摘は、一理はあるように見えるけど、説得性に欠けている。普通に、黙々と、「いまある大江町を」支える一万人弱の大江町民が「確かに存在していることが事実・真実」であり、過去の負の遺

産を凌駕した、未来に向かっの動かぬ何よりの証左であります。これまでの大江町とこれからの大江町を繋ぎながら、小さな芽生えであっても、大きな大木が期待できるような、生活と産業に直結するインフラ整備を強力に進めたいものであります。

教育の「量と質」が、問われています。人口減少社会の中で、量を確保し、質を高める教育は、国民総意の希求であります。要不要を、時の決定だけに委ねてはいけません。時の町民の考え方が、要不要を決定するのであります。学校教育も、社会教育も、社会の要求



重要文化的景観重要な構成要素の一つ原町通り

に応える形で行われ次代を造つてきました。教育は町民の意識が決定するのであります。個人と社会の相関の上に、教育を横断的に布陣する大江町に一步でも近づきたいものであります。教育文化は、大江町の未来に自信と誇り：生きる力を与えることを信じるからであります。

「不易と流行」、産業もまた然りであります。大江町を支えた産業も、厳しい時代の波に試されています。勝ち組

負け組の現実、看過できるか、否か。かつて大江町を支えた産業に、後ろ足で砂をかけられるか、自助努力だけでいいのかどうか。次代を見据えて公的支援が必要かどうか、町民各位の意識が問われています。不易は、我々の命そのもの、守らなければならぬものであります。

忍耐、我慢、辛抱が世の中から消えかかっています。居心地がよく快適極まる社会インフラは、応分の負担を伴います。高負担で高サービスの行政か、持続可能な程良いサービスはいかなるものか、真摯な問い掛けが個々の人と社会そのものになされていると思われ

れます。不自由を常と思えるか否か、が問われています。思えば大江町を支えた税は、こつこつ粉骨碎身の都会の八百屋さん、魚屋さんの汗にほかなりません。予算の影に潜む「人間模様」に思いを致した予算の配置に少しだけ近づきたい念が見えるか否か、ご精査をいただきたいものであります。

さて、一昨年の3月11日に発生した東日本大震災により、これまで日本国そして日本人が持っていた価値観が大きく変

化したように思えます。先輩諸氏が営々と築き上げてきた大江町の文化や生活の営みを守り育てながらも、刻々と変わる時代の流れを捉えた「継続可能なまちづくり」を、町民の皆さまと共に身の丈に合わせ、着実に進めてまいりたいと考えております。

平成25年度の町政運営につきましては、「ここに暮らす喜びをみんなが実感できる町」の実現のため、次の事項を重点事項として取り組んでいきます。

①人口減少対策、少子高齢化社会の進捗における町づくり

将来を担う若者の育成とその生活基盤となる産業の育成、結婚活動を支援するための制度を具体的に進めてまいります。特に定住人口対策として、この町に住みたくなるような住環境の整備を図るため、新たな住宅団地造成に向けた基本計画づくりと、若者向け町営住宅の建設をおこないます。

②閉校となった校舎の利活用

三郷小学校については山形県教育委員会より示された方針を受け、県立特別支援学校の分校の整備に向け、今後、県と町の間で具体的な事務手続きを進めることになっていきます。七軒西

小学校、七軒東小学校、本郷西小学校の利活用方法については、地域の方々の意見を聞きながら平成25年度中に利活用方法を決定したいと考えております。特に七軒西小学校については、平成25年度内に町内外の各種団体が利用できる宿泊施設として整備すべく進めていきます。

③町立保育園の今後のあり方

出生数の減少により、年々保育児童も減少しており、民間立の施設を含めた保育のあり方が課題となっており、有識者や町民を含めた検討委員会を設置し、今後の方向性を打ち出していきます。

④国の大型補正予算の活用

国は「日本再生に向けた緊急経済対策」として、平成24年度補正予算に取り組み、復興・防災、経済成長、暮らし安全対策を主とする経済対策を打ち出しました。これは町の負担が少なくてすむ内容であるため、平成25年度予定事業の前倒し実施を含めて取り組むこととしました。

⑤10年・20年後を念頭に置いた町づくり

これまでの道路橋梁の長寿命化対策を年次計画により進めながらも、老

朽化が著しいテルメ柏陵健康温泉館の木風呂改修工事を最優先に取り組んでまいります。隣接する柏陵荘についても今後の経営のあり方を協議したいと考えています。

さらに、耐震化対策として中央公民館の全面的な改築計画に早期に着手し、利用者の安全を確保しなければならぬ必要が生じてきたことから、こ

れまで検討してきた駅前公有地を活用する事業については一旦優先度を練り下げざるを得ないものと考えております。

また、閉校となった小学校校舎の活用など喫緊きつぎんの課題については、今後年度途中においての補正予算も視野に入れながら対応したいと考えております。

主要施策 その1 新たな住宅団地の造成／地域の魅力見つけ隊／各支援事業の継続／婚活支援 まちづくり

近年の少子・高齢化の急速な進展や多種多様な消費者ニーズに応えるため、これからの居住基盤の開発には、新たな視点と思考をもって対応することが求められています。今後の宅地開発には若者のニーズを十分に取り入れ、低価格で分譲できる小区画の新たな住宅団地の造成に向け、場所の選定、造成規模などの基本計画の策定を進めていきます。

地域の魅力と課題をさぐり、町民と町職員のコミュニケーションを図る「地域の魅力見つけ隊」を引き続き各区に配置するとともに、各区の地域活動を支援する「集落活性化交付金」や、町民が主体となって取り組む活動を支援する「やる気↓元気

活動支援事業」を継続し、町民主体の活力ある町づくりを支援していきます。

また、新たに地域おこし協力隊活用事業を導入し、地域活性化活動の支援や住民の生活支援などを積極的に推進してまいります。

未婚率の上昇の要因・背景には、個人の問題にとどまらず、社会環境の変化などの要因も多々あり、深刻な状況にあります。このため、県と連携を図りながら、新たに「婚活チューター制度」を導入し、結婚したいと思う人が、安心して自然に結婚できるような体制づくりを目指します。

主要施策 その2 新規就農者の支援／農産物の振興支援／大江町型住宅の販売促進 農林業の振興

本町においても、農業者の減少が進んでおり、耕作放棄地の増加も課題となつていきます。

これらについては補助制度を拡充するとともに、人・農地プランにより一層の充実を図ります。農業後継者の育成については、新農業者フェアなどを活用した新規就農を目指すイターンのための受け入れ農家確保と生活支援を実施し、新規に就農者として参入しやすい環境を整備し実施します。

本町生まれのサンルージュ、サンセプトをはじめ、第2世代や第3世代のスマホによる日本一の里づくりを目指し、生産者、JAと連携を密にし、PR活動の充実や生産量の増加を図るための支援をします。また、リンゴの奨

励品種への切り替えも引き続き支援し生産額の向上を目指すほか、わらびの新植についても引き続き支援していきます。

林業の再生産費の確保と関連産業振興のため、昨年度に完成した大江町型住宅の販売促進のための展示PRに加えて、新たに宿泊体験ができるよう準備を進め、町産材の住宅用材としての利用拡大を図ります。また、住宅用材としての天然乾燥材の生産と貯木を、生産者、林業事業者、製材所が協力しておこなう仕組みづくりについて、今後生産体制の確立を目指し検討していきます。さらに、森林整備の直接的な支援として、国の補助事業を積極的に活用した間伐事業の推進を図ります。



4月から宿泊体験ができるようになった大江町型住宅展示場(テルメ柏陵地内)

主要施策

3 その

地域産業の創出／工業団地へのアクセス道路
整備／町産品販売促進
商工労働観光

これまで町内企業への新規卒卒者採用を促す取り組みとして、町独自の雇用助成制度を実施してきましたが、一部助成対象など制度の拡充を図るとともに、国の雇用対策事業を引き続き活用し、関係団体の協力を得ながら雇用の確保を推進していきます。

新事業への取り組みを促進するため地域産業創造事業を実施していますが、今後もアイデアとやる気のある人材の掘り起しをおこない、より活用しやすい制度内容に拡充しながら、地域産業の創出を支援していきます。

国道287号から藤田工業団地へのアクセス道路が今年中に整備が完了することから、新たに企業誘致検討会議を設けながら、工業団地の造成などの調査研究をおこないます。

昨年寄附いただいた大相撲舟唄場



▲昨年度開催されたうまいもの市（写真は10月14日開催時の様子）

主要施策

4 その

大江西川線、町道の整備／町営住宅の拡充／
生活排水処理施設の整備
建設・上下水道

主要地方道大江西川線は、沢口、柳川間通称「柳川バイパス」の完成に引き続き、平成25年度には貫見から沢口までの貫見工区2期分、延長約1300

所の収益金470万円を財源として、引き続き商工会と連携したプレミアム商品券発行事業の実施や、除雪機購入時の助成などにより町内での消費拡大を進めます。また、「うまいもの市」や物産イベントなど、町の観光PRを含めた販路の拡大を進めていきます。

0mについて調査設計に基づき路線を確定させるとともに、橋梁詳細設計および用地調査などを実施する予定です。

また、要望活動強化の一環として組織の充実を図るため、西川町と「大江・西川両町道路整備促進期成同盟会」を設立し、これまで以上の要望活動に努めていきます。

左沢高等学校から小見方面に至る藤田堂屋敷線などの各町道や各生活関連道路の整備、通行に支障が生じている路線の舗装補修など順次実施していきます。

町営住宅については、老朽化した町営西原住宅E棟に代わる3世帯集合住宅1棟の建設に取り組みます。これは子育て世帯向けに、従来のA〜D棟の1LDKより広めの2LDKを予定しています。

公共下水道事業については、未整備地区でも接続希望者の多い小見地区の、管渠整備工事を実施していきます。

その後の管渠整備については、総合的な検討に基づき熟慮した結果、当面、平成26年度から休止せざるを得ないと判断したところであります。

合併処理浄化槽設置事業については、公共下水道処理区域の一部合併処理浄化槽処理区域への変更や、補助金の増額をおこないました。今後とも、公共水域の水質保全および公衆衛生の向上に向け、広く加入の推進に努めていきます。

水道事業では、地震などによる災害に備えるため下北山配水池の耐震補強工事を進めます。また、旧西部簡易水道施設の自己水源を有効利用するために、顔好橋以東の顔好、葛沢、滝の沢、梨木原地区までの給水を試験的に秋頃を目処に実施したいと考えております。



今年の1月に完成した町営西原住宅C・D棟

主要施策

その5

地域社会の交流促進／各種支援事業の充実／生活習慣病予防促進

健康・福祉・医療

近年、特に地域社会における人と人とのつながりの希薄化が問題視されておりですが、町にはこれまで築きあげられてきた各地域の自治組織や任意団体の活動などがまだまだ残っています。さらには「地域支え合い体制づくり推進事業」のような取り組みの中から高齢者サロンなど新たな仕組みも構築され積み重ねられています。

これらの活動を今後も大いに活用することは、地域社会におけるコミュニケーションを深め、お互いの信頼を築くことにもつながり、多様化する福祉ニーズに対処するには欠くことのできないものです。特に、大江町社会福祉協議会、民生児童委員協議会などのほか、関係する団体の活動には、今後の活躍が期待されるところであり、さらなる活性化、充実のためにさまざまな支援を継続していきます。

子どもは家庭の宝のみならず、将来を担う町の宝でもあり、子どもの健やかな育ちは、地域社会全体の願いです。妊娠期の健康診査負担、乳児の全戸訪問や妊婦・育

児相談、また、中学3年生までの医療費無料制度、さらには、不妊に悩む方を支援する特定不妊治療費助成制度などを継続し、経済的負担の軽減に取り組む中で子育て家庭を支援します。

保育に关しましては、国の徴収基準の70%以下に引き下げる独自の保育料設定や、3人目以降の児童が保育所などに入所している場合は保育料の一部を軽減する「いきいき子育て支援事業」などを継続し、子育て家庭の経済的負担の軽減に努めるほか、早朝・延長保育や、緊急的な保育ニーズに対応するためのファミリーサポートセンター事業などを継続し、子育て家庭の就業と育児の共存を支援していきます。

「いきいき健康行動計画21おおいえ」では「自らの健康は自ら守る」という考えのもと、疾病の早期発見と早期治療への対処や生活習慣の改善による生活習慣病の予防を推進していきます。しかし現実には、対象者の半分にも満たない健康診断の受診率です。これを踏まえ、各種の健康診断

や健康教育などの事業の際には、的を絞った事業提案をおこなうなど、効果的な方法を取り入れ、町民の方から理解し易いものとなるよう、疾病予防に取り組む環境づくりを推進していきます。

主要施策

その6

小学校2校体制／地域を大切にした教育／中央公民館全面改築

学校教育・社会教育

本郷西小学校の閉校に伴い、小学校2校、中学校1校体制に移行します。統合に至るまでに地域の多くの皆さまから寄せられた深い理解と熱い期待をしっかりと受け止め、地域を大切にした教育を推進していきます。

そのため学校運営にあたっては地域との関わりや地域住民の方からの知恵を学ぶ体験学習、職業体験など総合学習の展開、学校と地域との連携を重視した開かれた学校づくりに努めていきます。

本年4月より開校する「左沢小学校藤田の丘分校」および「大江中学校藤田の丘分校」については、児童



各地域で定期的に開催されている高齢者サロン（月が丘区）

自立支援施設である朝日学園と緊密に連携し、円滑な学校教育の導入を図ります。

閉校となる学校施設の利活用については、町づくりという観点から現在活用方法を検討しています。各学校の体育館については、当面「社会体育施設」として利用していきます。

中央公民館は、耐震診断をおこなった結果、耐震性能が不足しているとの判定を受けました。また一部改修を含めた耐震補強工事の場合でも多額の経費が必要となることや、現在の機能面などを考慮した結果、全面改築をすることを決断しました。



今年から全面改築に向けて検討を進める中央公民館、さまざまな生涯学習の拠点となっている

平成25年度は公民館の機能について町民のご意見を頂きながら整備に向け検討を進めていきます。

また、放課後子ども教室の実施にあたっては、小学4年生以上を対象とした「放課後ひろば」は、平成25年度より左沢小学校および本郷東小学校の空き教室などを活用して実施するほか、中央公民館では「絵画教

室」や「自然体験塾」など、様々な教室の開催に努めてまいります。

「最上川の流通・往来及び左沢町の景観」が国の重要な景観に県内で初めて選定を受けることとなりました。この選定により、暮らしと生活文化が織り成す景観の認識が一層深まり、次代につながるまちづくりの推進に向けて大きな弾みになると考えています。今後は

町内小中学生による文化的景観絵画コンクールの実施、ワークショップの開催など普及活動に努めるほか、今ある景観を守るといふ観点から、景観の重要な構成要素である建築物の調査をおこないます。

総合型地域スポーツクラブ O—STEP も2年目を迎えます。会員数も200名を数え順調にスタートをしています。平成25年度はクラブの足場を固める年と位置付け、指導者の確保や会員拡大、気軽にできるスポーツ教室の実施など、スポーツを楽しめる環境づくりを支援してまいります。

主要施策 その7

地域防災計画の見直し／自主防災組織の育成／消防団協力事業所制度 危機管理

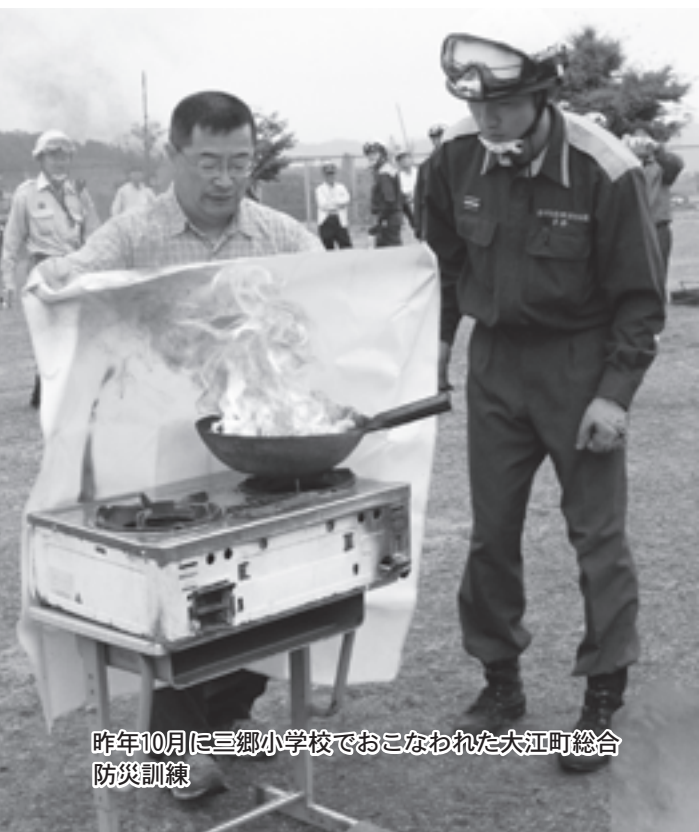
平成24年度は、東日本大震災を教訓に大江町地域防災計画の一定の見直しを進めてきましたが、国や県は計画を状況に応じてその都度修正をおこなっていることから、それらを踏まえ、今後も随時計画の見直しをおこなってまいります。

災害や有事の際は、正確な情報を瞬時にできるだけ広く町民に伝えることが、防災や減災に非常に有効です。そのため防災行政無線の整備を検討するとともに、国が進めるJアラートによる情報伝達をスムーズにおこなえる体制を構築してまいります。

災害発生時における被害の防止または軽減を図るには、地域住民の自主的な防災活動が重要です。広く町民のみならずから防災の基本理念である「自らの身は自らで守る」という気運を高めていただくため、自主

防災組織の設立と育成を支援し、併せて防災意識の啓発に努めてまいります。

地域防災の中核的存在である消防団の団員数は減少傾向にあり、更にはサラリーマン団員の割合が年々増加しています。若者が入団しやすく、消防団員として活動しやすい環境を整えるため、消防団協力事業所制度の活用を図りながら、事業所の消防団活動に対する理解と協力を求めていきます。



昨年10月に三郷小学校でおこなわれた大江町総合防災訓練

平成25年度 一般会計当初予算 44億1,000万円

時代の流れを捉えた町づくり

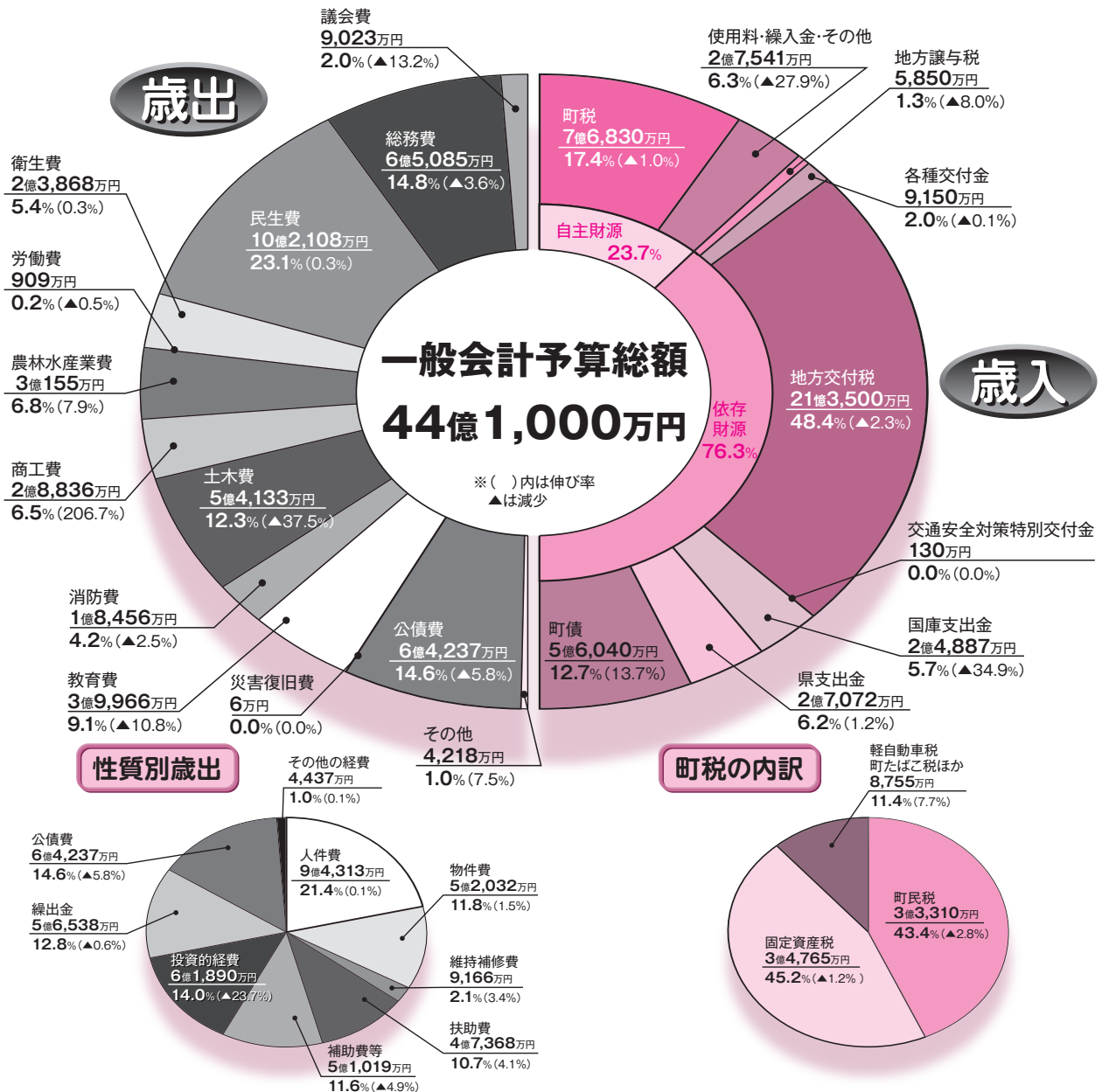
平成25年度当初予算が、3月の町議会定例会で可決されました。

一般会計の総額は44億1,000万円で、前年度当初予算額と比較すると5.0%の減となりました。

歳出面での特徴は、国の緊急経済対策に伴う大型補正予算で道路改良事業や橋梁維持補修事業などに取り組むこととし、平成24年度補正予算として前倒しで予算編成したため、投資的経費が大幅に減少しているほか、公債費についても、町債に係る元利償還金の償還終了等により減少しています。

歳入面では、投資的経費の単独事業が増加したことにより町債が増加となった一方、補助事業の減少に伴う国庫支出金や地方交付税の減少等により、全体で減となっています。

特別会計を含む各会計の予算概要をグラフと表で紹介します。（予算は千円単位ですが、グラフ表示上は四捨五入により万円単位としています）



◆今年度の主な事業

事業名	事業概要	予算額	事業名	事業概要	予算額
庁舎改修事業	エアコン更新工事費など	4,539万円	除雪機購入助成事業	除雪機の購入補助	150万円
デマンド型タクシー運行事業	移動困難者や公共交通空白地帯の地域住民の交通手段確保	550万円	大江のうまいもの市開催事業	大江のうまいもの市運営補助	160万円
「やる気→元気」活動支援補助	まちづくり活動に取り組む団体等への支援	350万円	健康温泉館改修事業	テルメ柏陵健康温泉館の木風呂改修工事費など	2億2,470万円
集落活性化支援交付金事業	各集落への活動交付金	600万円	道路新設改良事業	町道藤田堂屋敷線道路改良ほか	1億7,920万円
景観形成事業	生垣、屋根など優良景観形成に対する補助	419万円	住宅建築奨励事業	住宅新築・増改築に対する補助	500万円
地域おこし協力隊活動事業	地域おこし協力隊活動費	374万円	教育活動推進事業	学習生活指導補助員、学校図書など	1,524万円
子育て支援医療費	中学3年生までの医療費を無料化	3,024万円	放課後子どもプラン推進事業	放課後子ども教室の開催など	535万円
さわやか健康づくり推進事業	40歳以上の町民を対象に温泉施設の利用補助	637万円	左沢橋山城跡保存整備事業	史跡発掘調査、防災工事等保存整備費など	1,156万円
合併処理浄化槽設置補助事業	合併処理浄化槽設置に対する補助	852万円	文化的景観保護推進事業	重要建築物基礎調査、普及活動経費など	464万円
すもも産地化推進事業	すもも産地化・ブランド化に向けた活動補助	100万円	生涯スポーツ振興事業	総合型スポーツクラブ運営補助など	358万円
農機具等整備補助事業	農機具等の購入に対する補助	300万円	体育施設整備事業	町民武道館耐震診断など	383万円
プレミアム付き商品券発行事業	プレミアム分の一部補助	500万円	防犯対策事業	防犯灯LED化推進事業補助	210万円

◆特別会計・事業会計

	歳入		歳出			歳入		歳出		
国民健康保険	国民健康保険税	1億8,071万円	保険給付費	6億1,383万円	簡易水道事業	使用料・手数料	125万円	施設費	932万円	
	国庫支出金	2億3,772万円	後期高齢者支援金等	1億1,441万円		繰入金	881万円	公債費	35万円	
	療養給付費等交付金	1億2,015万円	介護納付金	5,831万円		繰越金・諸収入	4万円	その他	43万円	
	前期高齢者交付金	2億51万円	共同事業拠出金	9,786万円		合計	1,010万円	合計	1,010万円	
	共同事業交付金	8,737万円	保健事業費	1,352万円		公共下水道事業	分担金・負担金	331万円	施設費	3,538万円
	その他	1億3,714万円	その他	6,567万円			使用料・手数料	5,200万円	下水道建設費	5,460万円
	合計	9億6,360万円	合計	9億6,360万円			国庫支出金	1,920万円	公債費	1億6,097万円
				繰入金	1億4,919万円		総務費	195万円		
後期高齢者医療	保険料	6,222万円	広域連合納付金	1億14万円	その他	2,930万円	予備費	10万円		
	繰入金	3,855万円	総務費	64万円	合計	2億5,300万円	合計	2億5,300万円		
	その他	63万円	諸支出金・予備費	62万円	農業集落排水事業	使用料・手数料	630万円	施設費	1,456万円	
合計	1億140万円	合計	1億140万円	繰入金		4,099万円	公債費	2,586万円		
介護保険	保険料	1億5,630万円	保険給付費	9億802万円		その他	1万円	その他	688万円	
	国庫支出金	3億7,757万円	地域支援事業費	2,246万円		合計	4,730万円	合計	4,730万円	
	支払基金交付金	2億6,467万円	総務費	2,427万円	水道事業	営業収益	2億2,852万円	営業費用	2億2,744万円	
	繰入金	1億5,365万円	その他	55万円		営業外収益	1,488万円	営業外費用・予備費	1,596万円	
	その他	311万円				合計	2億4,340万円	合計	2億4,340万円	
合計	9億5,530万円	合計	9億5,530万円	企業債		9,590万円	建設改良費	1億5,816万円		
				国庫支出金		2,960万円	企業債償還金	3,772万円		
宅地造成事業	財産収入	1,593万円	宅地造成費	105万円	負担金	400万円	その他資本的支出・予備費	79万円		
	繰越金	5万円	基金積立金	1,490万円	合計	1億2,950万円	合計	1億9,667万円		
	諸収入	2万円	予備費	5万円						
	合計	1,600万円	合計	1,600万円						

■地域の魅力、課題を発表

～「地域の魅力見つけ隊事業」中間報告、「緑のふるさと協力隊」活動報告会～

地域の課題などに関する情報を住民と町が共有し、共に地域づくりを進めていく、「地域の魅力見つけ隊事業」の中間報告会が3月8日おこなわれました。

これは受け入れを希望する地区ごとに、2年間の任期で町職員が配置され、その地区の活性化を図るもので、現在大江町では2期目の活動がおこなわれています。報告会では各地区の担当者から、地域の行事への参加や自主防災組織の立ち上げなどの活動内容が報告されました。

また、昨年4月から、大江町荻野・堂屋敷区で農作業を手伝いながら地域の活動に参加してきた「緑のふるさと協力隊」の石坂康平さんが活動報告をおこないました。石坂さんは「深く生産現場を経験させてもらうことで、食べる物を作るということがいかに魅力的かということを知りました。農業活性化のためには、この魅力をインターネットを通じて、いかに若い人たちに発信していくかが重要だと思います」と話してくれました。



「緑のふるさと協力隊」石坂康平さん



▲列車内の様子



◀特製やまがた地鶏鍋と手打ちそばを味わいました

■お座敷列車でいく大江満喫ツアー ～JR左沢線春待ち酒ツアー～

「名湯“奥おおえ柳川温泉”ほろ酔いの旅」が3月17日、JR左沢線で運行され、仙台市などから72名が参加しました。

このツアーはJR左沢線の利用拡大、町内製品の消費拡大を目的にJR左沢線営業所と町観光物産協会がタイアップして企画されたものです。

当日はこのツアーにあわせてジョイフルトレイン（お座敷列車）が運行され、参加者は山形駅から左沢駅までの約1時間、正調最上川舟唄保存会による最上川舟唄や地酒大江錦を味わいながら左沢線の早春の景色を楽しみました。

また左沢駅到着後は柳川温泉に移動し、そば名人が打った手打ちそばとやまがた地鶏鍋を味わったほか、温泉も楽しみました。参加者は「来年もまた来ます」と笑顔で話していました。

■観光資源でコラボレーション

～西村山地区1市4町・山形どまんなか探訪プロジェクト～

西村山地区1市4町で組織する、山形どまんなか探訪プロジェクト会議で各市町の魅力ある観光資源を一つにまとめたパンフレットを作成しました。

このプロジェクトは、観光に対するニーズの高度化や多様化、旅行人口の減少など1自治体だけでは観光客の要望に応えきれない面が出てきたことから、1市4町が広域観光として協力し誘客推進を進めるもので、“どまんなか”は西村山地区が山形県の中央に位置することから命名されました。

パンフレットには1市4町の観光の見どころ、ご当地グルメ、お土産情報などが掲載されています。中には、市町の枠を超えてお互いの魅力を楽しむことができる観光コースなど、広域観光ならではの情報も紹介されています。パンフレットは各観光施設に配置していますのでぜひご覧ください。

※お問い合わせは、大江町観光物産協会 ☎（62）2139まで



今年度の 区長さんです

平成25年度の区長が決まりましたのでお知らせします。4月3日には、町民ふれあい会館で委嘱状交付式がおこなわれ、同席上で6人の区長に永年勤続感謝状が贈呈されました。

今年1年間、区長の皆さんには地域と行政を繋げる重要な掛け橋となっていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 木の沢／古藤 誠 | ★富 沢／漆畑 静男 | 滝の沢／佐藤 乾三 | 中沢口／庄司 利彦 |
| 1 区／五十嵐桂二 | ★ 用 /渡辺 恭伸 | 葛 沢／石川 博資 | ★道 海／渡辺 亀吉 |
| 2 区／鈴木 功 | ★深 沢／菊地 敏 | 原 /阿部 隆一 | ★柳川平／大場 茂善 |
| ★3 区／阿部 仁志 | ★伏 熊／鈴木 恒男 | 所 部／松田 正 | 田ノ沢／楠ヶ谷朋秋 |
| 4 区／駒林 義雄 | ★小漆川／白田 耕作 | ★塩野平／渡邊 泰聿 | 矢引沢／佐竹 義廣 |
| ★5 区／松田 憲二 | みなみ／関野 勇一 | 顔 好／清野千代吉 | 古 寺／佐藤 三男 |
| 6 区／伊藤 啓一 | ★若 原／木村 誠 | 三合田／柏倉 五郎 | |
| ◎7 区／松田 強三 | ★市の沢／清野 清継 | 久 保／渡邊 伸一 | |
| 8 区／峯田 紀一 | 下北山／林 尚夫 | 材 木／林 満 | |
| ○9 区／白田源一郎 | ★荻 野／最上三通男 | 橋 上／柏倉 武一 | |
| ★10区／安藤 光雄 | ★堂屋敷／大泉 太吉 | ★小 新／結城 壽一 | |
| ★11区／岡田 文治 | 諏訪原／清水紘太郎 | ★十八才／鈴木 正清 | |
| 12区／庄司 賢治 | 美 郷／石澤 六男 | 楢 山／高橋 忠一 | |
| ★13区／後藤 恒雄 | 下毛原／鈴木 勝則 | 月 布／荒木 勤也 | |
| 蛍 水／佐藤 幸夫 | ○山 崎／工藤 吉藏 | ○貫 見／松田 正志 | |
| 藤 田／伊藤 仁 | 望 山／小林 勇吉 | ★黒 森／松田 豊吉 | |
| 小 見／伊藤 登啓 | ★上北山／林 忠三郎 | ★小 清／佐竹 一郎 | |
| 月が丘／大場 浩一 | ★梨木原／渡辺 秀一 | ★沢 口／大場 光男 | |

◎…区長会長 ○…同副会長 ★…新任区長 (敬称略)

平成25年度 永年勤続感謝状

- ◆10年勤続
 - 工藤 吉藏 (山 崎)
 - 佐竹 一郎 (小 清)
- ◆5年勤続
 - 石澤 六男 (美 郷)
 - 佐藤 乾三 (滝の沢)
 - 荒木 勤也 (月 布)
 - 楠ヶ谷朋秋 (田ノ沢)

議会

town council 3月定例会

大江町議会第1回定例会が、3月7日から15日までの会期で開かれました。今定例会では、空き家等の適正

管理に関する条例、指定地域密着型サービス等の事業の人員、整備及び運営に関する基準を定める条例、大江町型住宅体験施設の設置及び管理に関する条例の制定などのほか、平成25年度の各会計予算や、平成24年度の補正予算などが審議され、原案通り可決されました。

【行政報告】

休園中の町立保育園の廃止に向けた今後の取り組みについて

七軒地区のつくし保育園と三郷地区にあるひばり保育園の両施設については、今後とも対象となる地域の児童数に大きな変化が見込まれないことから、廃止に向けた事務手続きを進めさせていきます。当面、関係する地元へ説明機会を設けさせていたいただきながら、広く需要の把握をおこなうなど、今後の活用について検討を加え処分方法を決定してまいります。

【補正予算】

平成24年度一般会計補正予算は、歳入歳出にそれぞれ8550万円を追加し51億8210万円となりました。



富樫 俊介 (柳川平) 政策推進課
新採職員を紹介します

これからの大江町発展のために誠心誠意がんばります。よろしくお願いいたします。



平成24年度明るい選挙啓発ポスターコンクールにおいて県立左沢高等学校2年生の津星香さんが財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長に輝きました。

輝いて 今

様々な分野で活躍され、表彰された町民の方々を紹介します。

2/23 チョコづくりですてきな出会いを

～ハローマリッジ実行委員会独身男女交流パーティー～

大江町商工会ハローマリッジ実行委員会が主催するカップリングパーティー「手作りチョコで幸せな出会い♪」が2月23日、歴史民俗資料館で開催され、町内外から出会いを求める男女10人が参加しました。

パーティーでは初めに、お互いにコミュニケーションをとりやすい雰囲気をつくるため、男女共同で本格生チョコづくりに挑戦しました。参加者はチョコの温度に気を配りながら、生クリーム、ブランデーなどを協力して混ぜ合わせるなど、和やかな雰囲気を楽しんでいました。

チョコづくりの後はオードブルパーティーを開催し、料理を味わいながら、自分の職業や趣味、性格などを記したプロフィールシートを交換することで親睦を深めました。



オードブルパーティーの合間には、代表者の伊藤氏から婚活におけるさまざまなアドバイスもありました▶



2/24 完成！ぼくらのオーエモン

～やながわ自然Factory 2013冬～

東北芸術工科大学の学生有志で企画する、大江町の子どもたちを対象とした造形教室“やながわ自然 Factory2013冬”が2月24日、中央公民館で開催され、小学2年生から6年生まで16人が参加しました。

この企画は今年で24回目をむかえ、今回は「その時、その人、その場所だからできること」をテーマに開催されました。子どもたちはダンボールを使って空想上の生物「オーエモン」の製作に挑戦し、4つの班に分かれ、どんな内容にするか一から話し合い、ダンボールのほかサランラップや紙皿、新聞紙など身近にあるものを駆使して巨大な生物を作り上げました。

できあがったオーエモンのテーマは“元気とげとげ”“やさしいふわふわ”など個性あふれるものばかり。参加した子どもたちは「オーエモンを作ることでみんなと仲良くなれた」と製作を通じてたくさんの友だちができたことがうれしそうでした。



▲指定されたポーズをとる、なかよし企画“ゆきだるまさんがころんだ”

2/28 自慢の芸を披露

～平成24年度大江町老人芸能大会～

町老人クラブ連合会が主催する恒例イベント「大江町老人芸能大会」が2月28日、らふらんす大江で開催されました。

らふらんす大江に入所している方々の生きがいづくりと会員の親睦を目的に毎年開催されており、今年は各区の老人クラブ会員、らふらんす大江入所者など24の個人や団体が、この日のために練習してきた歌謡曲や舞踊などの各種芸能を披露しました。中には13名もの出演者による大掛かりなものもあり、会場からは大きな拍手が送られました。

①小見睦会によるホウキとシャモジを使用した津軽三味線

②南京玉すだれで東京タワーを表現する庄司君代さん

③今年100歳を迎えた柴田民五郎さんによる詩吟



◆わだいの交差点に掲載できなかつた情報の一部は、町ホームページの「フォトおおえ」に写真を掲載していますのでご覧ください



▲国際宇宙ステーションから地球への帰還を想定した紙ヒコーキの模型

3/2 ギネス記録に挑戦!

～大江町興味しんしん事業 紙ヒコーキ教室～

子どもたちの興味を引き出し健全育成につなげようと、大江町興味しんしん事業“紙ヒコーキ教室”が3月2日、体育センターを会場に開催され、親子70人が参加しました。

当日は日本折り紙ヒコーキ協会の関東支部長の臼井実先生を迎え、より長い滞空時間を目指す本格的な紙ヒコーキ作りに挑戦しました。参加した子どもたちは、自分の作ったヒコーキが回旋しながら飛び続ける姿に大きな歓声を上げていました。

臼井先生は「紙ヒコーキの滞空時間をのばすために大事なことは、左右のバランスと翼の形です。手軽にできるので、何度も挑戦してほしいですね」と話してくれました。また、飛行機の歴史や原理、宇宙空間から地球に飛ばすことを想定した紙ヒコーキの紹介があり、子どもたちは真剣な表情で興味深く聞いていました。

3/18 誇りを胸に最後の旅立ち

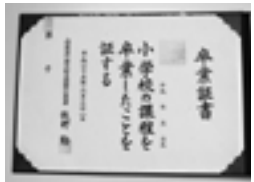
～本郷西小学校卒業式～

今年度から本郷東小学校に統合される本郷西小学校で3月18日、最後の卒業式がおこなわれました。

式では牧野勤校長が一人一人に卒業証書を授与した後、「人との温かなつながりと自分が打ち込める目標を持ち続け、本郷西小学校最後の卒業生として堂々と進んでいってほしい」と式辞を述べました。また別れのことばでは卒業生一人一人が学校への思いと学生生活の思い出、将来の目標を発表しました。

この後卒業生全員で「本西太鼓」を披露し、最後に全校生で「旅立ちの日」を大きな声で合唱しました。

卒業生6人には、青芋特産品づくり支援隊よりいただいた青芋を材料にした、特別な和紙を用いた卒業証書が授与されました▶



▲3月31日の伝統食の集いで出された雛御膳
◀コンサートで披露された尺八のアンサブル

3/24 3/29-31 舟運文化をしのばせる大江の雛

～大江のひなまつり～

江戸時代に最上川舟運によりもたらされた旧家の時代雛を展示する大江のひなまつりが3月29日～3月31日、町内各展示会場でおこなわれました。

会場となった金子千之助家、清野太家、岡田文治家、歴史民俗資料館では、江戸時代中期の享保雛や後期の古今雛などその時代の流行を表した雛人形を見ることができました。清野家の座敷蔵には、写実的な顔立ちが特徴的な古今雛や大阪の人形浄瑠璃から影響を受けてつくられた竹田人形が展示され、訪れた方は「貴重なものが見れた。お雛様もいいですが、会場の雰囲気も素敵ですね」と話していました。

3月24日には、町文化祭実行委員会などが主催する、音の文化祭「ひなまつりコンサート」が開催され、7団体が出演しました。“みんなであうたおう”では出演者の柏倉正嗣さん指揮のもと会場全員で「花は咲く」を合唱し、東日本大震災の被災地に向けて復興の思いを届けました。

お知らせ

Information

海外研修や留学の交通費を補助いたします

町では、多様な価値観と国際感覚を身につけ、地域の活性化に貢献できる人材を育てることを目的に「海外研修事業補助制度」を設けています。夏休み中の海外留学やホームステイなども補助対象となりますので、ぜひご利用ください。

◆対象者／大江町に住所があり、現在居住している方（ただし勉学のためやむを得ず町外に居住する学生も含む）

◆対象となる研修／

- ① 幅広い知識の習得と視野を広め、今後の町づくりを生かすための研修
- ② 地域開発、地域おこし等に必要技術習得のための研修
- ③ 国際交流の促進・親善の推進を図るため、国又は県、町等が主催する交流事業への参加
- ④ 海外ボランティア活動への参加

※①②④については現地での実質研修期間が7日以上であること

◆補助金額／交通費の2分の1以内

の額を予算の範囲内で補助します。（限度額は1人20万円・小中学生の場合は1人10万円）

※原則として研修実施の1カ月前までに申請書の提出が必要です。

※お問い合わせは、政策推進課政策推進係 ☎(62)2118まで

危険物取得者・消防整備士免状の写真書き換えのお願い

消防法令では、危険物取扱者および消防設備士の義務として、免状交付の日から10年以内ごとに写真の書き換えをしなければならない規定となっております。写真の書き換えをされていない方は速やかに手続きをされるようお願いいたします。

※写真の書き換えとは、交付後10年以内毎に免状の写真を新しい社員に取り替えることです。

※申請書は、各消防本部および消防試験研究センター山形県支部にあります。

※お問い合わせは、消防試験研究センター山形県支部 ☎023-631-0761まで

法曹三者（裁判所、検察庁、弁護士会）による裁判傍聴会の開催

◆日時／5月7日（火）13時30分～16時

◆場所／山形地方家庭裁判所（山形市旅籠町2-4-22）

◆内容／刑事裁判傍聴および裁判官・検察官・弁護士による裁判手続きの説明会

◆受付期間／4月22日（月）～26日（金）

◆受付時間／9時～16時30分

◆定員／30人（先着順）

※お問い合わせは、山形県弁護士会 ☎023-622-2234まで

憲法記念行事無料法律相談会の開催

◆日時／5月8日（水）10時～15時

◆場所／山形県弁護士会館（山形市七日町二丁目7-10 NANA BEANS 8階）

◆受付方法／当日会場にて受付

※事前申込み不要

◆受付時間／10時～14時30分

※状況により繰り上げさせていただく場合があります

※お問い合わせ先は、山形県弁護士会事務局 ☎023-622-2234まで

山形県看護協会「健康まつり」開催

◆日時／5月18日（土）10時～15時

◆場所／山形県看護協会会館（山形市松栄一丁目5番45号）

大江町消防団春季消防演習

◆期日／4月28日（日）

◆場所／左沢小学校グラウンドおよび左沢内町・横町通り

◆内容／消防操法訓練、一斉放水、分列行進など

※当日は、左沢地区の交通規制があります。ご協力をお願いいたします。

平成25年春季全国火災予防運動

◆期間／4月9日（火）～22日（月）

◆統一標語／『消すまでは 出ない行かない 離れない』

※4月16日（火）～22日（月）まで、7時と20時に防火サイレンを吹鳴します。

※お問い合わせは、消防署大江分署 ☎(62)3120、または総務課危機管理係まで ☎(62)2187まで



知事と語ろう

市町村ミーティング in 大江町

吉村美栄子県知事が大江町を訪れ、地域の課題や県政全般について住民と直接意見交換する「知事と語ろう市町村ミーティング」が本町で開催されます。



本町沢口地区出身の吉村知事と意見交換してみませんか?この機会にみなさんのお声をぜひお聞かせください。

◆日時 / 5月16日(木) 13時30分~15時30分

◆場所 / 町民ふれあい会館

◆対象 / 町内在住の方

◆申込期限 / 4月22日(月)

※お申し込み・お問い合わせは、総務課情報システム係 ☎(62) 2187まで

あなたの周りに、

結婚を望んでいる人はいませんか?

~婚活をサポートするチューター募集~

あなたの周りに、結婚を望んでいる人はいませんか?~婚活をサポートするチューター募集~

本町の少子化対策、定住化対策として「婚活チューター事業」が始まります。この事業は、日本の古き良き伝統である「仲人文化」の現代版となるもので、結婚を望む方への支援環境を整える事業です。下記の条件を満たす方であれば、誰でもお申込みできます。

◆チューターの応募要件 /

町内に居住する概ね30歳以上の既婚者

◆活動内容 / 恋愛や結婚に関する悩み相談・アドバイス、婚活情報の提供など

◆活動費 / 毎月、若干の手当を支給いたします。(成婚時には特別手当あり)

また、結婚を希望しているが婚活がうまくいかない方、悩み相談に乗ってほしいという方を募集しています。チューター制度により個別的に支援いたしますので、お気軽にお申込み・お問合せください。

◆チューターと支援を望む未婚者の申込期限 / 4月30日(火)

※お問い合わせは、政策推進課 ☎(62)2118まで

◆実施内容 / ※参加無料

【1日まちの保健室】

①測定・相談コーナー… 血圧、体脂肪骨密度、栄養相談、介護相談

②体験コーナー… 高齢者・妊婦疑似体験、赤ちゃんふれあい体験など

③白衣を着ての記念撮影

④「看護への道」進路相談

【講話など】

①「より健康な生活のための食事」(料理の実演・試食)

②「ラフターヨガ」(笑いヨガ)

③「介護を受けない体づくり」

【幼児の絵画展「ほく・わたしが出会った看護師さん」】

※お問い合わせは、山形県看護協会 ☎023-685-8033まで

「ツール・ド・さくらんぼ」参加者・ボランティアの募集

初夏の味覚「さくらんぼ」の季節に、寒河江西村山地域の雄大な自然あふれるステージを舞台に、サイクリングによるロングライド大会「ツール・ド・さくらんぼ」が6月1日(土)に開催されます。現在、参加者やお手伝いいただくボランティアスタッフを募集しています。詳しくはホームページ <http://tourdesakuranbo.com/> をご覧ください。

※お問い合わせは、公益社団法人寒河江青年会議所 ☎080-5743-3205まで

「認知症」で悩んでいませんか

相談は無料です。秘密厳守。

◆日時 / 火・金曜日 13時30分~16時

◆場所 / 山形県社会福祉協議会(山形市小白川町二丁目3-30)

※お問い合わせは、山形県高齢者総合相談センター ☎023-622-6511まで

笑

わせてみます。何のことかという、随分前に、ある方から編集後記がネタタイプだという指摘があり、笑えるような内容をお願いされました。いざ考えてみると非常に難しいです。紹介する内容を探すこともそうですが、いい題材を見つけても「どのよう文章で表現しようか?」と悩んでいるといつの間にか冷めてつまらない文章になってしまいます。別の方からは「心に余裕がないからだよ」という指摘を受けました。広報係になって2年目、もう少し余裕をもつてがんばってみようと思います。



編集後記
(山家雄志)



和紙人形「三月雛」 阿部妙子

リレー随想／ 《第70回》

緑のふるさと協力隊

私が一年間住んだ塩野平という地域は、山を背にして田んぼが平地に続く地域で、お寺と神社が一軒ずつある。横浜に住んでいた時は、まさに景色が一変している。日本の何処にいても四季を感じることはできるが、家の目の前にある田んぼの稲穂の育つ速さや遠くの山の色合いの変化はどこか身に迫ってくる自然の力強さがあつた。

大江町に来て早一年、農業にどっぷりと浸かり作物を育てることの難しさを身をもって感じていた。職としての農業だけでは無い。純粹に食べて生きることの難しさである。

「お百姓は何でもさんないなだ。」

大江町の農家の方がよく言うセリフであるが、生きることへの業とは他に、奉仕の精神をよく目にした。「公」に対する忠の心は、日本の美德であると思つてゐる。天に徳を積み、我を捨てる。生きていく上で大切な仲間とはこうした心の働きから生まれるものと、二十数年足らずの人生だが本気でそうだと感じた。

アメリカの心理学者のマズローは、人間の欲求には五段階あると言つた。衣食住足りて礼節を知るではないが、生存欲求の次には何かの一員でありたいとか、自分の価値や可能性を探りたくなるというものである。

私はこの大江町で様々なことを人から自然から学んだ。自分が働

いた以上の恩恵を戴いてばかりだった。雪かきなど当人がやるのに難しいことを手伝つた時などにふと感じたのが、自分のために行う何かは大したエネルギーにはならないのかもしれないということである。自分に価値や可能性を見出すというなら、できるだけ人に喜んでもらえるものが良い。しかし、ただ喜んでもらうだけの行いでは足りない。忠は自身の「義」を持つて行うものである。町外から来た人間ではあるが大江町には愛着を感じている。行いは大江町に対する愛を義とした。これから先の町の未来を考えていきたい。それが「公」に対する忠であると思う。

塩野平には冬に「地藏遊ばせ」という行事がある。お地藏様を持ち上げたりしながら豪快に遊ばせるもので、お地藏様を天に高く突き上げた様子が印象的だった。お地藏様を楽しませることで集落の安泰を祈るのだという。これから大江町をしっかりと持ち上げて元氣よく楽しそうに遊ばせていけたら良いなと思う。

(緑のふるさと協力隊・石坂康平)

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
十八才	鈴木 悠太	男	洋喜・由希
滝の沢	渡辺 麗雅	男	達郎・純
月布	荒木 健都	男	健信・明日香
若原	松田 遥翔	男	俊輔・佑菜
13区	神保 健太	男	洋・良

ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名
(貫見)	庄司 鶴雄
(貫見)	今井 秀幸
(小見)	伊藤 紘平
(山形市)	五十嵐 友紀



ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
13区	吉野 勇	(76)
下モ原	松田 いし	(91)
3区	渡辺 清	(69)
月が丘	工藤 慎一	(58)
3区	太田 常子	(76)
9区	安食 はなよ	(94)
9区	伊藤 みつ	(97)
9区	伊藤 タツ子	(88)
滝の沢	大沼 花子	(84)
小見	鈴木 ハナヨ	(89)
藤田	堀 七郎	(91)
13区	五十嵐 みやの	(98)
小漆川	清野 弘明	(53)

人口と世帯(前月比)

町の人口	9,075人(-37)
男	4,462人(-11)
女	4,613人(-26)
世帯数	2,919戸(-6)

平成25年4月1日現在

戸籍の まど

2月21日～3月20日受付分